

2026 年 8 月 26 日

高知県室戸市との連携協定締結のお知らせ

社会福祉法人恩賜財団済生会と室戸市とのインクルーシブな
地域共生社会の実現に向けた連携協定に関する締結式
令和 8 年 8 月 26 日



社会福祉法人 恩賜財団 済生会（東京都港区/理事長 炭谷 茂）は、室戸市（高知県/市長 植田 壮一郎）と、8 月 26 日(水)、「インクルーシブな地域共生社会の実現に向けた連携協定書」を締結しました。

■本協定の趣旨と背景

本会は、日本最大の社会福祉法人として、「生活困窮者支援の積極的推進」、「地域医療への貢献」、「総合的な医療・福祉サービスの提供」「ソーシャルインクルージョンに基づくまちづくり」という 4 本柱の使命を追求し、社会的支援を要する人を含むすべての人が地域社会に参加し、共に生きていくというソーシャルインクルージョンの根付いた社会＝誰一人取り残されない社会の実現を目指しています。また、第 3 期中期事業計画では、「支部未設置県の支部設立（復活）」をビジョンに掲げ、支部未設置県での事業や活動の促進に力を入れています。その第 1 号として今回、室戸市と協定を締結しました。

室戸市では、令和 8 年度から「重層的支援体制整備事業」の本格実施に取り組み、利用者本位の視点に立った「室戸市モデル」の確立を目指しています。そこで、全国展開する日本最大の社会福祉法人である本会のノウハウと人材、ソーシャルインクルージョンの理念を掛け合わせることで、本会及び室戸市が、相互に連携・協力し、誰一人取り残されない、市民一人ひとりが住み慣れた地域で、尊厳を持って健やかで心豊かに安心して暮らしていることができるよう、人と人、人と社会が相互につながり、支え合い、活力のあるインクルーシブな地域共生社会の実現を目指します。

■本協定で連携する取組み

- (1) 地域福祉の推進のための重層的な支援に向けた取組み
- (2) 地域コミュニティでの交流を活性化する取組み
- (3) こども、高齢者、障がい者、生活困窮者等の地域社会への参加に向けた取組み
- (4) 健康増進、健康づくりに関する取組み
- (5) 子育て支援に関する取組み
- (6) 自然環境に配慮した取組み
- (7) 防災対策に関する取組み
- (8) その他、目的を達成するために必要な取組み

■本協定に基づき済生会が支援する当面の室戸市の具体的な取組み

- (1) 重層的支援体制整備事業の企画、実行

今年度から室戸市で実施される重層的支援体制整備事業について支援の成果が実感できる効果的な重層的支援体制整備事業の企画・実施を支援することにより複雑、融合化した課題を抱える人たちが、安心して地域に暮らせることを目指します。

特にアウトリーチ（訪問支援）を重点的に取り組み、地域で自ら声をあげづらい人たちに支援が届くように努めます。

支援に当たっては工夫を凝らしそれぞれの人のニーズに応じ、医療、介護、福祉、就労、学び、趣味、住居、居場所等幅広い分野のサービスを用意します。

本年秋には地域住民向けの活動紹介・交流イベントの開催も検討し、住民の方々多くの理解を深めます。

なお旧元小学校において総合相談窓口や交流拠点施設として整備が計画されていますので、当施設を拠点として重層的支援体制整備事業を展開します。

- (2) インクルーシブ就労の推進

高齢の人、障害を有する人、引きこもりの人など何らかの理由で就労に就けない人が、地域住民とともに就労できる施設を旧元小学校に整備し、インクルーシブ就労（包摂的雇用）を推進します。

ここでは地域の特性を生かし、水産業（水福連携事業）、農業（農福連携事業）、林業（林福連携事業）、商業（商福連携事業）、ジオパークを活用した観光・環境学習事業（ジオ福連携事業）などビジネス性が高く、やりがいを感じる多様な仕事を創生します。

この事業を通じ室戸市における新しい福祉と連携した産業を興し、地域の活性化に繋がります。

- (3) 「協議機関」の設置

協定に基づいた事業を適切に推進するため、済生会と室戸市の協議機関を設置します。ここには済生会理事長、室戸市長他両者の関係者がメンバーとなります。

【室戸市について】

室戸市は、四国の最東南端に位置し、年間を通して温暖な気候に恵まれており、昭和 34（1959）年に 5 つの旧町村が合併し、市制が発足しました。室戸市の特徴ある産業や資源でもある定置網漁業や台地農業、土佐備長炭や室戸海洋深層水など、歴史を刻みながら脈々と受け継がれています。

平成 23 (2011) 年には、地球の大地が動く仕組み（プレートテクトニクス論）を陸上で体感、証明できる場所として、世界的にも極めて稀有な地質学的価値があることなどから、「室戸ユネスコ世界ジオパーク」にも認定されました。

また、弘法大師空海が悟りを開き、空海と命名された聖地と言われる修行の場「御蔵洞^{みくらど}」をはじめ、四国霊場八十八か所の札所が三山あり、国内外のお遍路さんが行き交う遍路文化の豊かな地でもあります。こうした室戸市の特徴や資源を活かして誰もが健康で、高齢者や若者、子ども達の歓声が溢れ、誰もが安全で楽しく元気に暮らせる室戸市を目指して市民の皆様とともに取り組んでいます。

〔社会福祉法人 恩賜 財団 済生会について〕

済生会は、明治天皇によって出された医療によって生活困窮者を救済しようという「済生勅語」に基づき、明治 44(1911)年に創設されて以来、医療を受けることが困難な困窮者に対して医薬を施すという「施薬救療」精神のもと、医療・福祉が届きにくい人々への支援に、1 世紀以上にわたり取り組んできました。全国 40 都道府県にある 85 病院を中心に、介護・福祉施設を合わせて 406 施設を運営しており、約 67,000 人の職員が在籍しています。

現在、高知県には済生会の支部・施設は存在ませんが、かつては、昭和 3 年に済生会高知県病院(高知市江ノ口字本間)を開設、昭和 16 年に移転し、高知診療所(高知市蓮池町十七)を開設。昭和 20 年の戦災で焼失するまで活動していました。戦後、支部・施設の復活を企図しましたが実現せず、廃止となりました。

○ホームページ : <https://www.saiseikai.or.jp/>

お問合せ先 : 社会福祉法人 恩賜 財団 済生会 事業部 総合戦略課
TEL : 03-3454-3076